

2010 eastlib 研修分科会

私立大学図書館協会 東地区研究部 研修分科会 第2期 2010年度

第5回 2010. 10. 29.

日時
2010年10月29日 (金) 13:00-17:00

会場
青山学院大学図書館
1階 マルチメディア室

テーマ
電子化時代の大学図書館

講演
佐藤陽一氏 (Google社)

Access Map



会場へは開始の**定刻前**にお越しください。
また、急に来られなくなった場合や遅刻する場合は、**必ず連絡**をお願いします。
大学図書館支援機構事務局 携帯番号：
090-9100-0387

青山祭 (大学祭) 期間中で図書館は閉館していますので、入口向かって左の教職員通用口よりお入りください。

書籍の電子化と大学図書館を考える

今年は5月のiPadの販売開始をきっかけに、マスコミでも電子書籍元年という言葉が席巻しています。また、国立国会図書館の「近代デジタルライブラリ」に126億円の予算がついたとか、日中韓の国立図書館の電子化連携など、国民読書年の今年は話題が豊富です。しかし、iPadは買ったものの、日本語の電子資料の貧弱さにはがっかりさせられている方も多いのではないのでしょうか。図書館界で書籍の電子化をどう捉えるか、今まだ混沌としています。例えばGoogleが掲げる「世界の情報を整理して、世界中の人がアクセスでき、使えるようにする」という理念は、人類の知識の収集と組織化を目指した古代図書館の起源や、ランガナタンの図書館5原則と通じるものですが、図書館はこれをどう受け止めるべきなのでしょう。大学図書館の将来像と、学術情報流通を支える役割として、何をすべきなのか考える時間になりたいと思います。

Time Table

時間	内容
13:00-14:30	佐藤陽一氏講演
14:30-14:45	ティーブレイク

時間	内容
14:45-15:00	質疑応答
15:00-15:45	グループ討議
15:45-16:00	発表・全体討議
16:10-17:00	青山学院大学図書館見学

講演: Google booksについて (仮題)

今回は日本のGoogle社でGoogle booksの責任者でいらっしゃる佐藤陽一氏にご講演をお願いしました。広く世界の話もお話いただけることと思います。

宿題

今回は、提出する宿題はありません。下記に参考文献をあげますので、できれば読んでおきましょう。CiNiiに本文PDFがあるものに限りしたので、誰でも入手可能です。(電子化されていないものは読めない事例かな?)

- ▶佐藤 陽一."Googleブック検索について". 館灯. 46, (2008), 14-17.
- ▶牧野 友衛, 徳生 裕人"Googleブック検索の取り組みについて". 情報の科学と技術. Vol.57, No, 4, (2007), 184-187.

- ▶名和 小太郎."グーグル・ブック・サーチ,あるいはバベルの図書館:新しいぶどう酒は新しい革袋に". 情報管理. Vol. 53, No. 3, (2010), 131-139.
- ▶時実 象一."世界の知識の図書館を目指す Internet Archive 創設者Brewster Kahle へのインタビュー". 情報管理. Vol. 52, No. 9, (2009), 534-542.
- ▶津野 海太郎."情報は捨てても本は捨てるな". 情報の科学と技術. Vol. 57, No, 4, (2007), 180-183.
- ▶山本 隆司."米国Googleブック検索訴訟の和解が持つ意味 図書館関係者への助言". 情報管理. Vol. 52, No. 7, (2009), 405-416.
- ▶鈴木 尊紘."アーカイブとその倫理." 情報の科学と技術. Vol. 57, No, 5, (2007), 233-237.

第4回 情報リテラシー教育 2010.10.1



↑ 井上真琴氏講演 ↓ 早稲田大学図書館見学

